

## 2 地方創生加速化交付金事業 幸手にぎわいの街プロジェクト検証結果

交付対象事業の名称及び事業内容	交付金 充当額(円)	重要業績評価指標(KPI)※平成29年3月末時点			事業評価	今後の方針
		評価指標	目標値	実績値		
事業名：幸手にぎわいの街プロジェクト事業	20,755,573	幸手市の食、グルメの認知度	20%	29%	KPI達成に有効であった。	食についての事業は、市民まつりにおいて継続的に実施する。サイクリング事業については、幸手さくら観光駅の取組とともに、レンタサイクル事業に協力していただく事業者と連携し、継続的に実施する。
【事業概要】 幸手市の持つ新旧の魅力を市内外に発信し、交流人口の増加を図ることを目的に、「食」と「自転車」を切り口に既存の観光資源・交流資源の掘り起こしに加え、自転車による回遊を促進するレンタサイクルの社会実験を行う。		幸手市での滞在の交通手段として自転車を利用すると答えた人の割合	5%	59%		
【実施内容】 ● 幸手宿うまいもんまつりの実施 食に関するまつりを実施し、幸手市の魅力をPRするとともに、にぎわいの創出、発信により交流人口を促進した。 食資源基礎調査、新グルメ開発提案採択店による商品販売、本物志向の有名ラーメン店と地元ラーメン店の出展、キッチンカーフェスティバル、幸手ラーメンぐるりラリー、手米俵投げコンテスト等のお遊びコーナーの設置、官学連携事業として作成された「幸手食べある記」、「幸手市サイクリングマップ」の発表などを実施した。 来場者数 26,000人(幸手宿うまいもんまつり実行委員会発表) ● 食資源基礎調査、新グルメ開発 幸手産の農作物等を活用し、「ヘルシー&ビューティー」をコンセプトに食資源の調査及び4件の新グルメを開発した。 ● 「幸手食べある記」の作成(官学連携事業) 日本保健医療大学大学生のワーキンググループにより幸手市内のグルメ冊子としてを「幸手食べある記」を16,000部作成した。 ● 「さちぼたスタンプラリー」の実施 レンタサイクルの社会実験として平成29年2月18日から2月26日までの期間、ポタリング(自転車さんぽ)でまちなかを体験する「さちぼたスタンプラリー2017」を実施した。 参加者数 256人 ● 「サイクリングマップ」の作成(官学連携事業) 日本工業大学大学生のワーキンググループにより幸手市内のサイクリング見所スポット及び「幸手さくら観光駅」の候補店の洗い出しを行い、サイクリングマップを15,000部作成した。 ● 「幸手さくら観光駅」整備 幸手に来訪いただいた方にまちの案内、トイレの利用、パンフレットの配布など、まちのおもてなし拠点として全10箇所設置した。		市外在住者の幸手市は住みやすいと感じると答えた割合	20%	74%		

幸手市まち・ひと・しごと創生市民会議委員の意見	<p>① 本事業については交付金事業でなくなっても何らかのかたちで継続して実施してほしい。</p> <p>② KPIの目標値についてももう少し高くした方がよいのではないか。また、効果検証の仕方についても工夫してほしい。</p> <p>③ 事業の取組内容についてもっと市民に知らせるようにしてほしい。</p>
-------------------------	---